

■概要(経緯)

- ・令和2年7月頃 国道19号の車道路面に微量のクラック(亀裂)を確認・適宜補修を実施
- ・令和3年2月19日 車道路面で30mmの段差及び最大幅50mmの路面クラックを確認したため路面補修及びシーラ材注入を実施
- ・令和3年2月25日 9時より片側交互通行規制により応急復旧工事を開始
- ・令和3年3月21日 降雨の影響により21時に伸縮計の移動量が管理基準値を超過したため通行止めを実施
- ・令和3年3月25日 連絡調整会議(第1回目)
- ・令和3年3月31日 国総研、土研による現地調査
- ・令和3年4月 5日 現時点では、道路の川側の法面の動きが収まっていない状況であるため安全のため全面通行止めを継続中(緊急車両と路線バスは除く)
- ・令和3年4月 8日 「国道19号長野市信州新町水内地区路面沈下対策検討委員会」開催

■現地写真



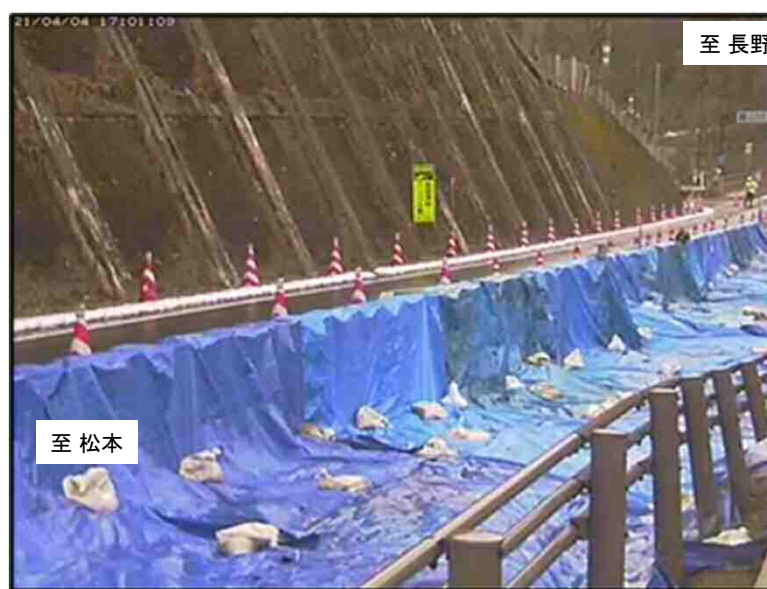
・路面クラック状況 2月19日撮影



3月6日撮影

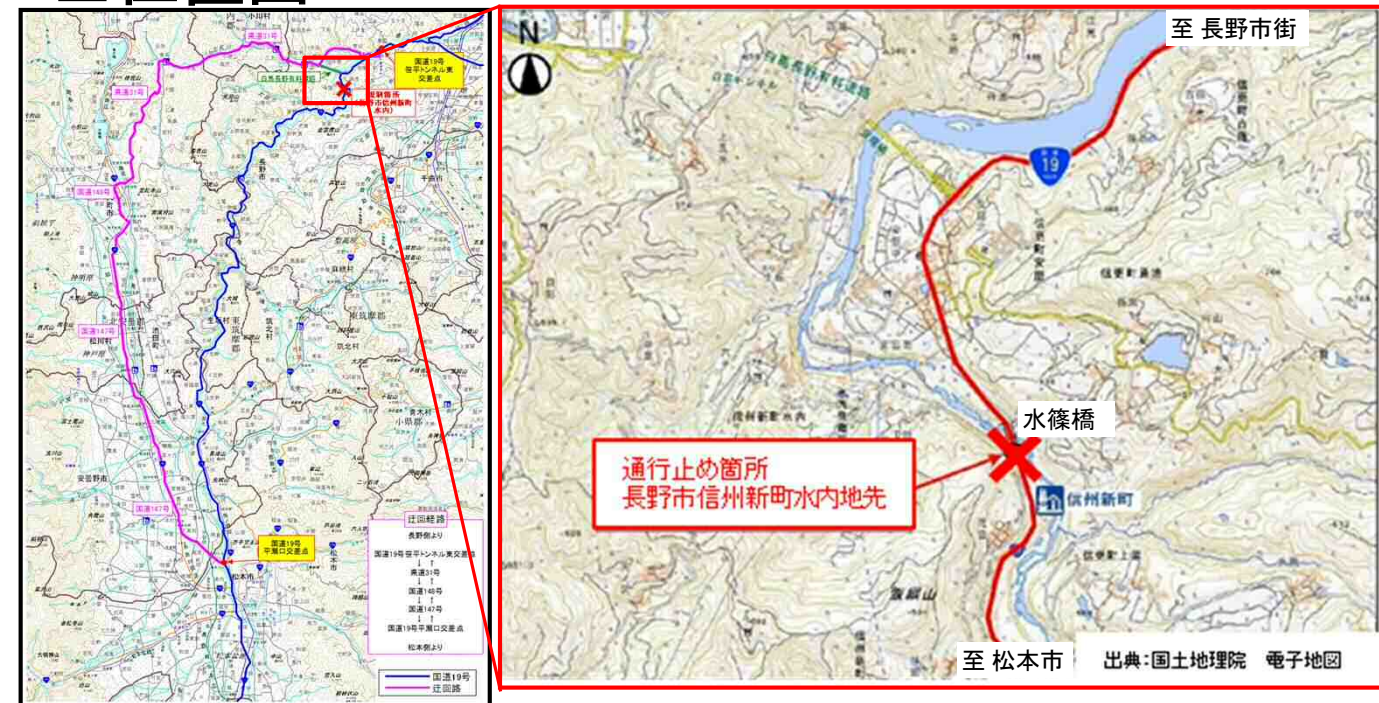


・鋼矢板打設完了後 3月26日撮影

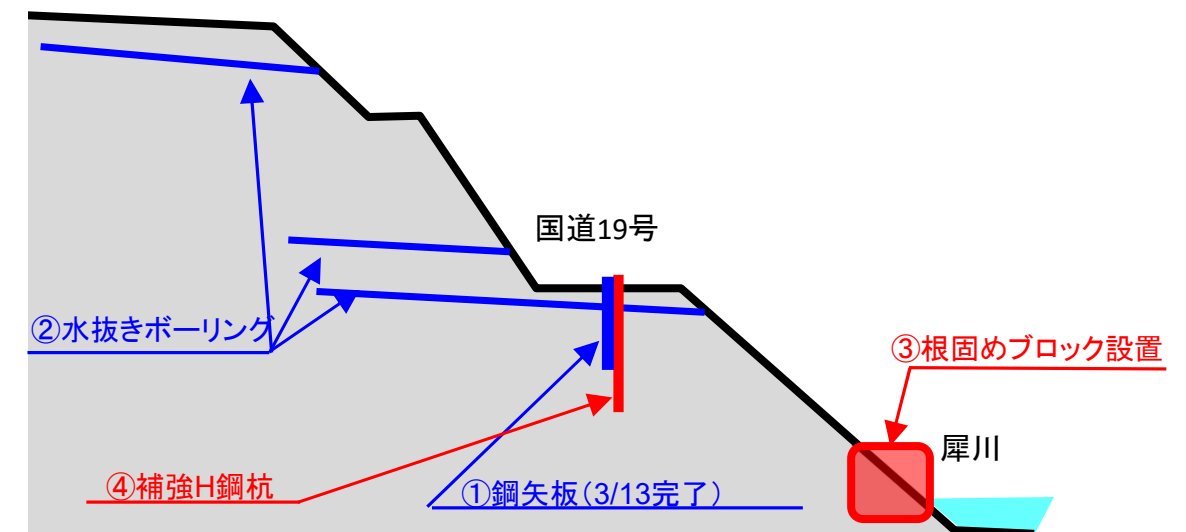


4月4日撮影

■位置図



■応急復旧工事



【応急復旧工事の予定】

- ①下り車線の安全を確保するため鋼矢板を施工(3月13日完了済)
- ②地下水位を下げて地盤を安定させるため水抜きボーリングを施工(3月18日から4月中を目途)
- ③根固めブロック設置:N=280個(4月2日~準備工着手)
- ④補強H鋼杭:L=13m×60本(4月9日~実施予定)